



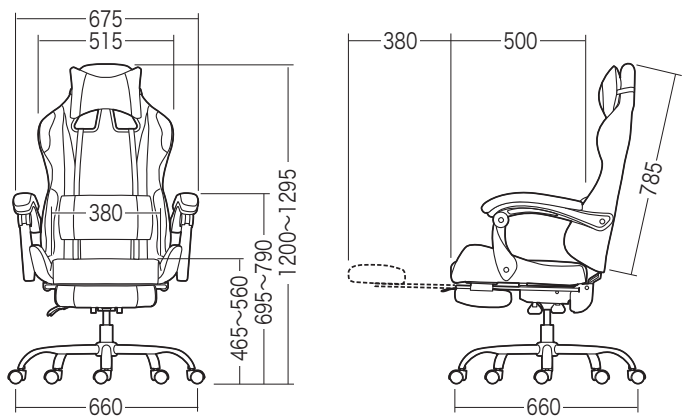
この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
本製品は組立式になっておりますので、下記の詳細で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も
大切に保管してください。**

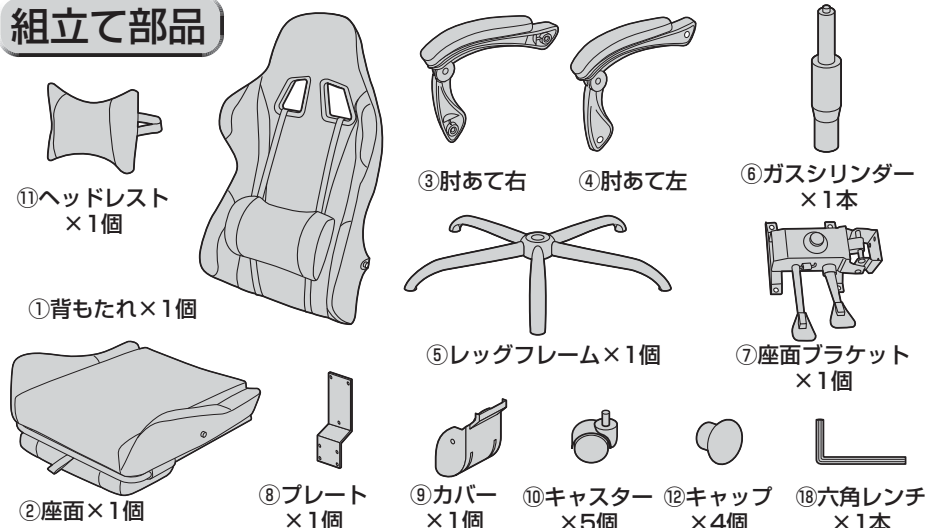
この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

★用意していただくもの・・・
手袋（組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください）

完成図

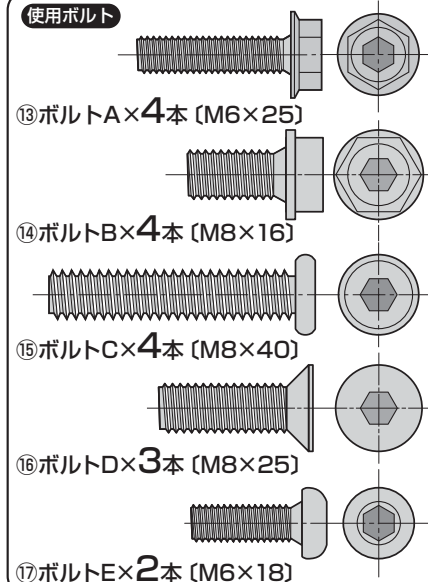


組立て部品



※部品の欠品や破損があった場合は、品番(150-SNCL012)と上記の部品番号(①~⑫)と
部品名(キャスターなど)をお知らせください。

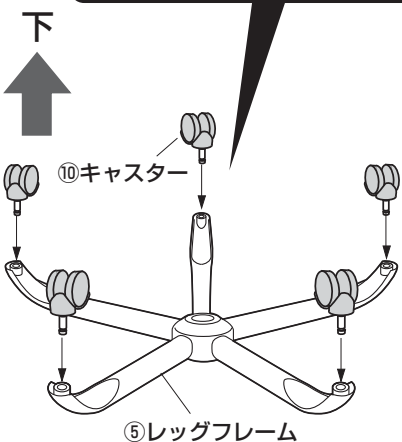
使用ボルト



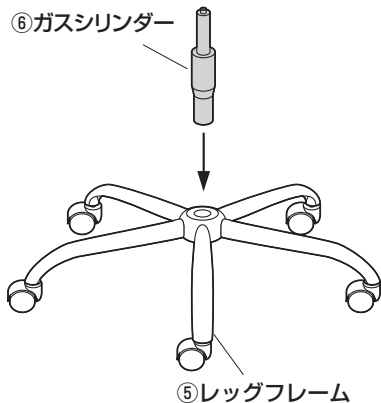
1 レッグフレームをひっくり返し、
キャスターを取付けます。



それぞれのキャスターは全て圧入式
です。(手ではめこむ)
奥まできちんと差し込んでください。

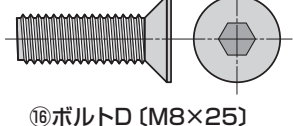


2 レッグフレームにガス
シリンダーを差し込みます。

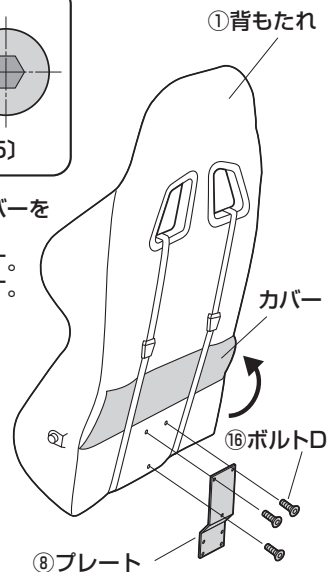


3 背もたれにプレートを取付けます。

使用ボルト

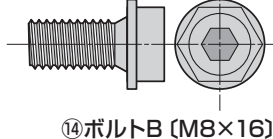


- ①背もたれ背面下のカバーを
めくりまわします。
- ②プレートを取付けます。
- ③カバーを元に戻します。

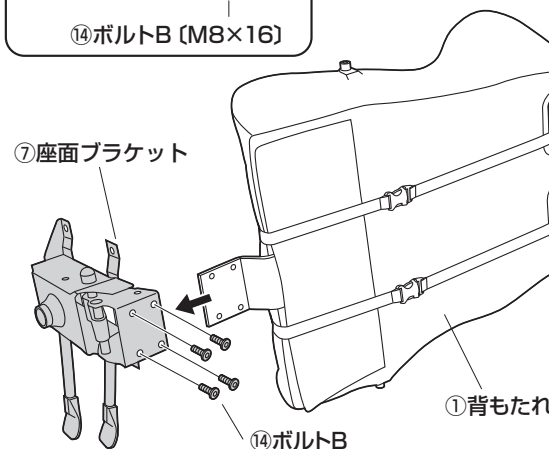


4 背もたれに座面ブラケットを
取付けます。

使用ボルト

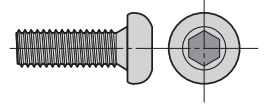


※背もたれと座面ブラ
ケットが直角になる
ように取付けてくだ
さい。



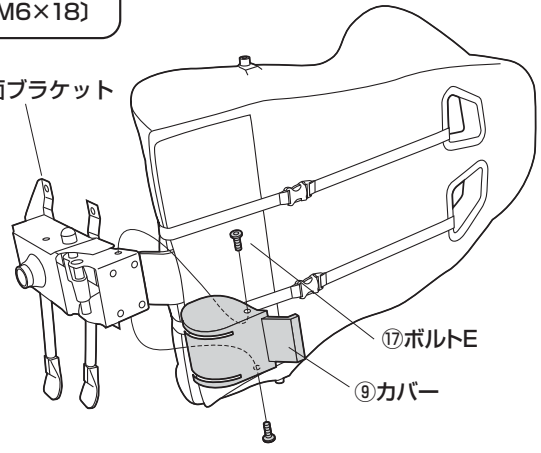
5 座面ブラケットにカバーを取付けます。

使用ボルト



⑰ボルトE (M6×18)

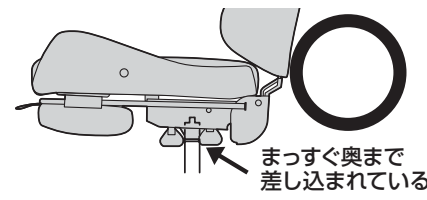
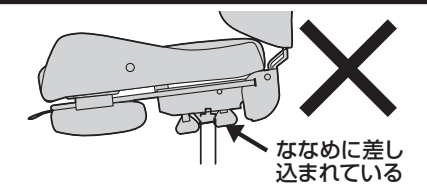
⑦座面ブラケット



7 ガスシリンダーに座面を差し込みます。

▲ 注意 ▲

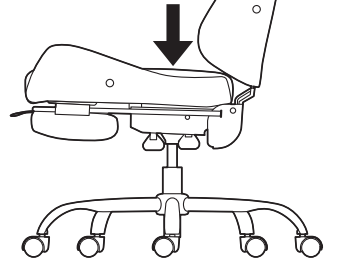
座面をガスシリンダーにまっすぐ奥まで差し込んでください。座面がななめに差し込まれていると、奥まで差し込まれず、ガスシリンダーが正常に作動しない場合があります。



※ガスシリンダーが深く差し込まれるように、座面にしっかり体重をかけてください。

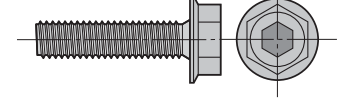
※ガスシリンダーが深く差し込まれていないと、座面の高さ調節ができません。
 ※何度か座面に体重をかけてガスシリンダーを確実に差し込んでください。
 ※体重の軽い方ではガスシリンダーが深く差し込まれない場合があります。

座って押し込む



6 座面裏側に座面ブラケットを取付けます。

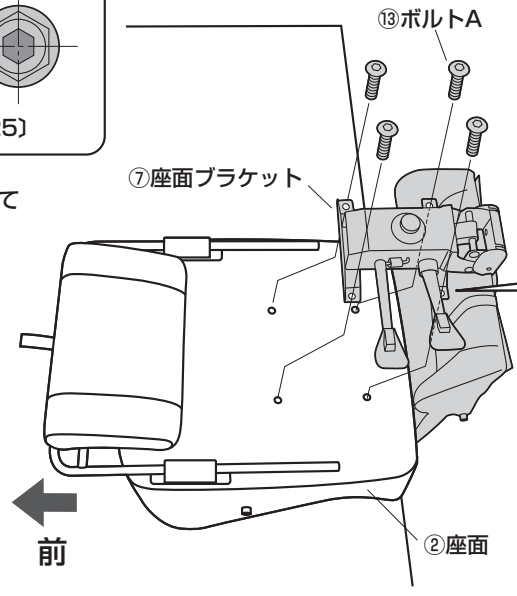
使用ボルト



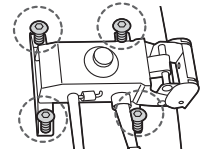
⑬ボルトA (M6×25)

※机などの上に座面を置いて取付けてください。

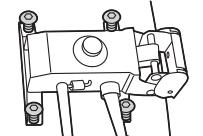
⑦座面ブラケット



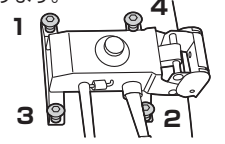
①4本のボルトをゆるく付けます。



②すべてのボルトを均等に少しずつ締め込みます。

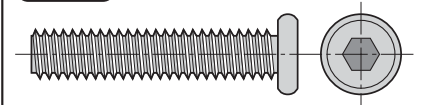


③最後に下図の1,2,3,4の順にきつく締めつけます。



8 肘あてを取付けます。

使用ボルト



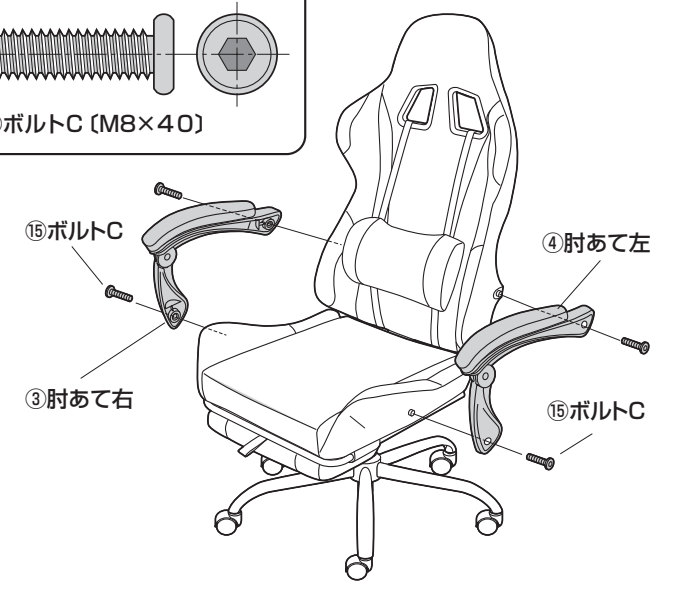
⑮ボルトC (M8×40)

⑮ボルトC

④肘あて左

③肘あて右

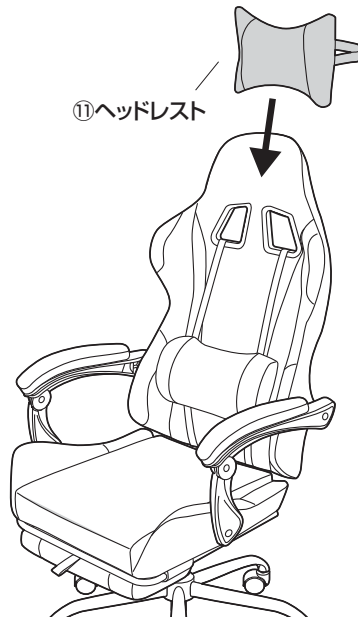
⑮ボルトC



9 肘あてにキャップを取付けます。



10 ヘッドレストを取付けて完成です。



チェアの品質表示

外形寸法：幅675×奥行660×高さ1200~1295mm
(座面高さ465~560mm)

構造部材：座部/合板 背もたれ部/合板 脚部/スチール キャスター部/ナイロン
張り材：PVCレザー
クッション材：ウレタンフォーム

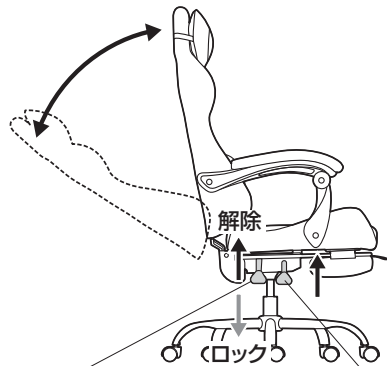
▲ 使用上の注意 ▲

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
 - 滑りやすい床面で使用しないでください。
 - 用途以外で使用しないでください。
 - 2ヶ月毎を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
 - ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
 - 座面や肘あての上に登らないでください。転倒の原因になります。
 - 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
 - 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
 - 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3~4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
 - 同時に2人以上で腰掛けしないでください。
 - 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。
- ※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。

各部の調節方法

▲ 注意 ▲

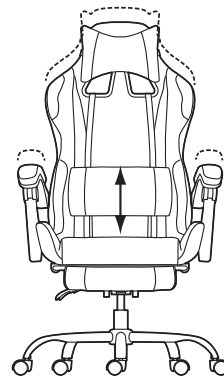
レバーを引き上げてガスシリンダーが正常に作動することを確認してから使用してください。正常に作動しない場合はガスシリンダーが奥まで差し込まれていない場合がありますので、座面プラケットを差し込み直してください。



後側のレバーを解除の方向に動かすと、背もたれの角度を調節できます。レバーをロックの方向に動かすと、任意の角度で固定できます。

▲ 注意 ▲

可動部分で手や足を挟まないように十分ご注意ください。



前側のレバーを引き上げると座面の高さ調節ができます。

オットマンの使用方法

▲ 注意 ▲

可動部分で手や足を挟まないように十分ご注意ください。

①座面の下からオットマンを引き出します。

②オットマンを180°回転させます。

